

---

# 小説って難しい・・・

凍死滝

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

小説って難しい・・・

### 【Nコード】

N1643P

### 【作者名】

凍死滝

### 【あらすじ】

つぶやき見たいな物です。あしからず

この現代、1980年〜2010年にかけて日本は急激な成長を遂げて来た。

特にインターネットは物凄い発展を日本のみならず世界規模で急成長してきた。

今では、ADSL回線・ケーブル回線等が主流だがさらに高速で快適なインターネットを利用していただ

くために光回線が主流かしてきている。

私が初めてインターネットに触れた時はまだ、電話回線を使っていた。

電話回線でインターネットをしていた頃に比べても、今は便利で調べ事も直ぐに検索できる。

現代の情報化社会にはうつつつけの媒体と化している。

・ 何故、小説を書くのにインターネットの前書きをしたかと言つと・

今、私が執筆している者もインターネットを利用して誰もが気軽に楽しみながら執筆をして、それが日本

中のインターネット利用者（閲覧者）に読んでもらう事が可能だ。

今まで私もこのようなサイトがある事を、知ってはいたが利用するまでには至っておらず

自分には興味が無いとまでは言いませんが、利用はしないと思っていました。

そんなある日友達からの電話で最近の近況や仕事の話等いつものように下らない話で盛り上がっていて

話の中で友達が最近面白い事見つけたと切り出してきた。

『お前小説が書けるサイトって知ってるか？俺、小説を書く事なんか興味なかったんだけど興味本位で書き始めてみたらこれが結構面白くてお前にもサイト教えるからやってみないか？』

突然の友達からの誘いと、小説を書き始めたとの告白。

私はまさか友達が小説を書き始めたり、各々に興味があるとは思っていてもいなかったので驚いていた。

そんな状況の中で会話が続き、インターネットの凄さにも再確認させられる事になった。

『俺なんか書いた小説でもさ、ちゃんと見てくれる人がいるんだよ！やっぱりネットってどんな物でも皆見てるんだよなー初めはアクセス数なんか気にしなかったけど最近はこちらと気になったりするよ！たいした物書いてる訳じゃないんだけどさ・・・はははは』

何かそんな事になるのかーと思うと俺でも書けるんじゃないかと妄

想し始めていた。

それから暫らく友達との会話は続いていたが頭の中では自分はどんな物が書きたいんだろうとか

どんな物が書けるんだろうとか、まず書き方知らないしちゃんと小説を読んだ記憶がない事に気付き

ながらも友達に私は

『遊び感覚でも構わないんだろ？じゃあ俺も書いてみるよ！でも上手く小説になるかは別問題だけだな』

言ってしまった。

そして、揺るも遅くなってきたので電話を切り就寝する事にした。

翌日、またインターネットで色々調べてみることにした。

やはり便利なインターネット！！

直ぐに、ウィ〇ペディアひつとしてどんな物を改めて確認する。

しかし、物語を書くのに必要な文章力はあるとは思えなかった・

段落は？句読点は？描写は？と考えればキリがない事は解かった事。

しかし、自分の考えだけで感想文を書いたり会社のレポートを作っ

たりお問い合わせ等へ文面を送る事は

たやすく出来るがそれは此方の勝手な文面だったり、相手1人に対してだけ伝えられれば良い物が多い。

小説はひとつの物語の中を作りその中を登場人物が出てきて自分の作り上げたキャラクターたちが物語の

上を彼らの世界のように書き説明、行動もどんな動きをしたのかキヤラの感情は読んで解かるものなのか

刻々と移って行く場面に合わせて書いていく。

これを忠実にやっていけば、それなりに出来上がるはずなのだが・

いざ作ってみるとこれがまた頭をフル回転。

書きながら場面構成をしてキヤラには性格を付け場面に乗せる。

考えながら、あーしよう、こうしよう、ここでこうしたら話しが広がる等と考えすぎて自爆した。

『何か何が書きたいか解かなくなってきた・・・一服してコーヒー飲むか・・・』

ただの休憩です。状況は変わらず睡魔にも襲われて書き進まないまま就寝した。

こうやって、事細かに色々書いてみたがこんな行動を文面にしてみ

ると、何となくそれっぽくなったか

な？こんな感じでも小説と呼べるかな？

話が面白くなくて魅力が無いかも知れないが頭で文面を考えて、夕  
イピングではあるが文章を書く事は

とても面白い。

この文面が面白いかは読む人次第かな？

まだまだ小説書きになるには修行が必要ですが少しずつ力を付けて  
いこうと決めた今日この頃だった。

ここから文章の続きは幾らでも作れると思うがこの話は、不定期更  
新決定です！

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1643p/>

---

小説って難しい・・・

2010年12月10日02時28分発行